

KENWOOD

STZ-KBR010

ドライブレコーダー

取扱説明書 ～詳細編～

取り付け、配線、ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明のとおり正しく取り付け、配線をしてお使いください。

特に「安全上のご注意」(▶P.3～P.7)は、必ずお読みいただき、正しく取り付け、配線をして安全にお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管し、必要な時にお読みください。

本機はDC12V車専用です。また、日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

万一の事故など、もしものときは!!

必要な録画/記録ファイルが上書きされないようにエンジンを停止して、microSDカードを取り出してください。(▶P.12)

microSDカードを本機に挿入する前に「本機で推奨するmicroSDカードについて」をお読みください。(▶P.8)



本機の最新の取扱説明書は、下記のホームページからダウンロードできます。

<https://manual2.jvckenwood.com>

機種名検索：**STZ-KBR010**

目次

目次	2	「Motorcycle Cam」を起動する	22
安全上のご注意(必ずお守りください)	3	メニュー画面について	22
使用上のご注意	7	本機の設定をする	23
取り付けについて	7	撮影画角の調整	24
ご使用について	7	動画を再生する	25
著作権について	7	録画ファイルをスマートフォンに保存する	27
本機のお手入れ	7	録画ファイルを削除する	28
本機で推奨するmicroSDカードについて	8	フォルダを削除する	29
microSDカード使用上のご注意	8	PCビューアソフト「Motorcycle Cam	
ドライブレコーダーの機能	9	Viewer」を使う	30
設定機能について	9	「Motorcycle Cam Viewer」の動作環境	30
録画機能について	9	「Motorcycle Cam Viewer」ソフトを	
常時録画	9	入手する	30
衝撃録画	9	「Motorcycle Cam Viewer」をインストール	
手動録画	9	する	30
録画ファイルの上書きおよび保存について	9	「Motorcycle Cam Viewer」を起動する	30
録音機能について	9	PCビューアソフトを使う(Windows版)	31
同梱品を確認する	10	PCビューアソフトを使う(Mac版)	36
各部の名称と接続	11	ファームウェアのアップデート	40
取り付けかた	12	故障かな?と思ったら	41
microSDカードを挿入する	12	無線LANについて	43
取り付け手順	13	無線LANについてのごお願い	43
1. レイアウトを決める	13	フォルダ / ファイル構成	44
2. 本体を取り付ける	14	録画時間と録画可能ファイル数	45
3. GPSアンテナを取り付ける	14	録画時間	45
4. スイッチを取り付ける	14	録画可能ファイル数	45
5. カメラを取り付ける	15	付録	46
6. 電源ケーブルを接続する	16	測位衛星(GPS、GLONASS、みちびき)の	
7. 中継ケーブルを接続する	17	受信について	46
8. ケーブルを車両に固定する	18	商標、ソフトウェアに関する重要なお知らせ	46
9. 動作を確認する	18	ソフトウェアに関する重要なお知らせ	47
インジケーター表示とスイッチの操作	19	ソフトウェア使用許諾契約書	48
スマートフォンアプリ「Motorcycle Cam」		主な仕様	50
を使う	20	保証とアフターサービス	51
スマートフォンアプリの機能	20	商品に関するお問い合わせ	53
スマートフォンアプリをインストールする	20		
本機とスマートフォンを無線LAN接続で			
接続する	21		

安全上のご注意(必ずお守りください)

お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意(警告を含む)が必要なことを示す記号です。
	してはいけない行為(禁止行為)を示す記号です。
	必ずしてほしい行為(強制・指示行為)を示す記号です。

警告

取り付けや配線について

	視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない 交通事故やけがの原因となります。
	本機はDC12Vバッテリー搭載車専用です DC12Vアース車以外で使用すると、火災や故障の原因となります。
	エンジン、マフラー周辺など、高温になる場所には取り付けない 火災や故障の原因となります。
	本機を両面テープで貼り付けるとき、表面温度が70℃以上になる場所に貼り付けない 両面テープの粘着力が劣化し、本機が落下し交通事故やけがの原因となります。
	本機を車両の可動部と干渉したり圧縮される場所に取り付けない 本機や車両の破損、運転の妨げなど、交通事故やけがの原因となります
	本機(本体)を車両の天井面に両面テープで貼り付けない(キャンビータイプ車両など) 両面テープが剥がれると、本機が落下し交通事故やけがの原因となります。
	取り付けやアース配線に車両の保安部品(ハンドル、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない 交通事故やけがの原因となります。
	作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する 車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

	接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また変形を元に戻しての使用もやめてください 接続端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する 取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車両に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。
	取扱説明書に従って取り付け・配線をする 火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。
	ケーブル類は、運転を妨げないように引き回し固定する ハンドルやブレーキレバー、シフトペダル、ブレーキペダルなど運転操作部に巻き付くと、交通事故の原因となります。
	車体やねじ部分、可動部にケーブルを挟み込まないように配線する 断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
	被覆のないケーブル部分はテープなどで絶縁する 被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。
	取り付け・配線後は、車両の電装品が正常に動作することを確かめる 車両の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインター、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。
	ねじなど小物部品やmicroSDカード、はがした剥離紙は乳幼児の手の届かないところに置く 誤って飲み込む恐れがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
	電源ケーブルの中継コネクタは確実に差し込む 確実に差し込まない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。
	電源ケーブルを抜くときは、中継コネクタを持って抜く ケーブル部分を持って抜くと、ケーブルや中継コネクタが破損し火災、感電の原因となります。
	本機を長時間使用しないときは、電源ケーブルと本機の間の中継コネクタを抜く バッテリー上がりの原因となります。外した中継コネクタはビニールテープなどで水や異物が入らないように保護してください。
	必ず同梱品や指定の部品を使用する 機器が損傷したり確実に固定できず、外れて事故や故障、火災の原因となります。
	電源ケーブルは定期的に清掃する 電源ケーブルの端子にほこりが付いていると火災の原因となります。
	ヒューズホルダーは水がかからない場所に取り付ける 感電、故障、火災の原因となります。
	雷が鳴り出したら、ケーブルや本機に触れない 感電などの原因となります。
	ぬれた手でmicroSDカード、中継コネクタの抜き差ししない 感電、故障の原因となります。

使用方法について



分解禁止

分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、ケーブルの被覆を切つて他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

また、本製品の改造や改造した機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法違反になります。



機器内部に水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。また、故障の原因となりますので、飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。



故障や異常な状態のままで使用しない

異物が入った、煙が出る、異音・異臭がするなどの場合は、直ちに使用を中止し、電源ケーブルと本体を接続している中継コネクタを抜いてください。事故や火災、感電の原因となります。



走行中にスマートフォンアプリの操作を絶対しない

必ず安全な場所に停車してご使用ください。交通事故の原因となります。



走行中にスイッチを操作したり、インジケータの表示を注視したりしない

必ず安全な場所に停車してご使用ください。交通事故の原因となります。



本機の動作確認をするために急発進や急ブレーキなど危険な運転を行わない

交通事故の原因となります。



結露が生じたまま本機を使用しない

故障、発熱、感電の原因となります。



本機を落下させる、ぶつけるなど、強い衝撃を与えない

破損や故障の原因となります。



本機の近くに強い磁気があるものを置かない

故障の原因となります。



本機にガソリン、油脂類、有機溶剤、ブレーキフルードなどを付着させない

破損や故障の原因となります。



高圧洗浄機を使用しない

破損や故障の原因となります。



外した中継コネクタはビニールテープなどで水や異物が入らないように保護する
故障の原因となります。



ヒューズは必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を15cm以上離して使用してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

異常時のお問い合わせ



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずJVCケンウッドカスタマーサポートセンターか、ご購入の販売店に連絡してください。そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意

取り付けや配線について



高圧の水（高圧洗浄機など）のかかる場所や温気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。



本機の上に物を乗せたりかぶせたりしない
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。



ケーブルの扱いに注意する
ケーブルに無理な力加わらないようにたるみを持たせ、可動部は曲げ半径40mm以下に折り曲がらないように設置してください。
また、ケーブルを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを乗せる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。



貼り付け面の塗装の劣化に注意する
本機を同梱の両面テープで固定する際は貼り付け面の塗装の劣化にご注意ください。塗装の劣化により粘着力が低下すると脱落の恐れがあります。また両面テープの粘着力によって車両の外観面に影響がある場合があります。

使用方法について



本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となります。



走行前に本機の取付状態を点検する
本機の脱落、落下などにより、けがや交通事故、本機の故障の原因となります。



高温注意

温度の上昇に注意する
本機は使用状況によって温度が上昇する場合があります。けがや交通事故の原因となりますのでご注意ください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(⇒P.41)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、再起動ボタン(⇒P.11)を押してください。再起動しても正常に戻らないときは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

本機はGPS機器を搭載しています

取得する走行データには、位置情報が含まれます。

使用上のご注意

取り付けについて

- 本機を車両に取り付ける際は、必ずエンジンキーを抜き、不用意にエンジンがかからない状態で作業してください。
- 運転操作の妨げにならない場所に取り付けてください。
- 誤った取り付けをした場合は、衝撃録画が正しく動作しないことがあります。取付方向、取付角度など取扱説明書を参照して本機を正しく取り付けてください。(▶P.13)
- 市販のクリーニングクロスなどにエタノールを混ぜたもので、取付場所の汚れや脂分、ワックスなどをきれいに拭き取り、乾いたことを確認してから取り付けてください。
- 両面テープを再貼付けしたり、汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり本機が脱落する恐れがあります。必ず新しい両面テープに交換して貼り付けてください。また必要に応じて、結束バンドなどを使用して固定してください。
- ケーブル類は、運転操作の妨げにならないように結束バンドで固定するか、市販の結束テープなどでまとめてください。
- 車両のエンジン、マフラー付近など高温になる場所、着座時、サスペンションフルボトム時に当たる、圧迫される場所には設置しないでください。
- 本機を長期間使用しない場合は、電源ケーブルの中継コネクターを外してください。バッテリー上がりの原因となります。外した中継コネクターはビニールテープなどで水や異物が入らないように保護してください。
- 本機が周囲の無線機器に対して影響を与えていないこと、および周囲の無線機器から影響を受けて録画映像が乱れていないことを確認してから使用して下さい。影響がある場合は本機や本機のケーブルを周囲の無線機から遠ざけて下さい。

ご使用について

- 外付カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- LED信号機を撮影した場合、信号機がちらついたり点滅しているような映像が録画される場合があります。また信号機の識別や録画を保証するものではありません。
- 録画内容の正確性、完全性、目的適合性に関して、当社は一切の責任を負いません。

- 本機やmicroSDカードに異常が発生していないかの確認を含め、正常に記録されていることを定期的に確認してください。
- 本機の電源がオンになったときに、インジケータが異常表示をしていないか必ず確認してください。(▶P.19)
- ご使用前に外付カメラの角度ズレ、本機の取付状態に緩みがないかなど、必ず確認してください。
- 雨天などレンズに水滴が付着していると、映像が不鮮明になる場合があります。

著作権について

- 個人が楽しむ場合であっても、権利者に無断で録画・撮影・録音することはできない場合があります。
- 録画・撮影・録音することが権利者によって許可されていても、個人で楽しむ視聴以外の利用が許可されていない場合があります。

本機のお手入れ

- 本機が汚れたときには、シリコンクロスが柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のものでも拭くと、傷が付いたり、変形や変質、破損の原因となります。
- レンズが汚れていると画像が鮮明に撮影できません。走行前に外付カメラのレンズに汚れが付着していないことを確認してください。汚れている場合は水で濡らした柔らかい布で軽く拭き取ってください。乾いた布で強くこすると傷の原因となります。
- レンズに市販の撥水コート剤などを塗ると、レンズの性能が損なわれ、映像が劣化する場合があります。また、撥水コート剤が本機の塗装面に付着すると塗装が劣化する場合があります。

本機で推奨するmicroSDカードについて

タイプ	microSDHC microSDXC
容量	16GB ~ 256GB
スピードクラス	Class10 UHS-I 推奨
ファイルシステム	FAT32
アロケーションサイズ	64KB

- 動作確認済みのmicroSDカード
SanDisk:
SDSQUNS-016G-GN3MN [16GB]
SDSQXCZ-256G-GN6MA [256GB]
- すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- 繰り返し録画に適した耐久性の高いドライブレコーダー向けmicroSDカードを使用することを推奨します。
- microSDカードを本機で初めて使用するときに、インジケーターがエラーを表示することがあります。microSDカードのフォーマットをすることで正常にご使用いただけます。

microSDカード使用上のご注意

- 市販のmicroSDカードを使用するときは、microSDカードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。
- microSDカードを入れる、または取り出すときは、本機の電源を必ずオフにしてください。電源がオンの場合、データやmicroSDカード自体が破損する恐れがあります。
- microSDカードは必ず本機でフォーマットを行ってから使用してください。
- microSDカードを入れた後は、正しく録画ができてくるか必ず確認してください。
- microSDカードには書き込み可能回数などの製品寿命があります。使用状況に応じて定期的に新品に交換することをお勧めします。

- microSDカードを挿したり、抜いたりするときは、方向を確認し、折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えないでください。端子部分に直接手を触れたり、金属を当てたりしないでください。静電気により、記憶されているデータが破損、消失する恐れがあります。
- microSDカード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めのバックアップ(コピー)をしてください。microSDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存内容が失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機のmicroSDカードフォーマットや削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSDカード内のデータは完全に消去されません。使用を中止する際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってmicroSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。microSDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。
- microSDカードは消耗部品です。使用状況に応じて定期的に新品に交換することをお勧めします。
- microSDカードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- 約1か月を目安として定期的にmicroSDカードをフォーマットしてください。
- microSDカードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温高湿の場所で放置しないでください。
- microSDカードに起因する機器の不具合は保証対象外となります。

- microSDカードのフォーマットはスマートフォンアプリから行います。
 - スマートフォンアプリについては(⇒P.20)を参照してください。

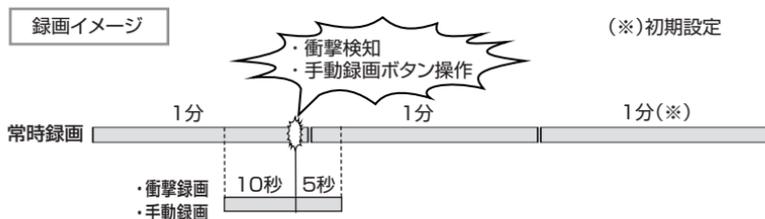
ドライブレコーダーの機能

設定機能について

スマートフォンアプリ「Motorcycle Cam」、またmicroSDカード(パソコンで設定)を使用して本機の機能を設定することができます。詳細については(➡P.23、P.31、P.36)を参照してください。

録画機能について

本機はmicroSDカードに動画を保存します。
本機を使用する前に、必ずmicroSDカードを、本体のmicroSDカードスロットに挿入してください。
詳細については(➡P.12)を参照してください。



常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画が開始されます。初期設定では1分ごとにファイルを分割して保存します。分割時間は設定で変更することができます(➡P.23)。

衝撃録画

常時録画中に突然の衝撃を検知すると、衝撃録画が開始されます。本機は衝撃を検知する前10秒、後5秒のデータを記録します。衝撃録画が終了すると、常時録画に戻ります。

手動録画

常時録画中にスイッチのボタンを押すと、手動録画が開始されます。ボタンを押した、前10秒、後5秒のデータを記録します。手動録画が終了すると、常時録画に戻ります。

録画ファイルの上書きおよび保存について

録画されたファイルは、常時録画、衝撃録画、手動録画ごとに別々のフォルダに保存されます。

「フォルダ/ファイル構成」(➡P.44)参照

microSDカードの記録領域がいっぱいになると、古いファイルから上書きされます。

詳細については「録画時間」「録画可能ファイル数」(➡P.45)を参照してください。

録音機能について

録画時の録音機能のオン/オフを設定できます(➡P.23)。

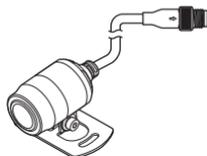
同梱品を確認する

本機を取り付ける前に、すべての部品がそろっていることを確認してください。

本体



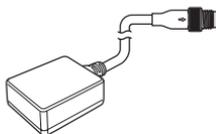
カメラ x2



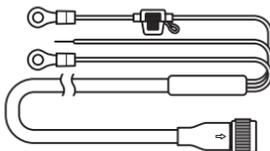
スイッチ
(両面テープ付き)



GPSアンテナ
(両面テープ付き)



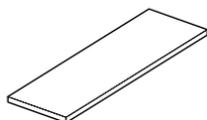
電源ケーブル



両面テープ x2
(カメラ用)



両面テープ x2
(本体用)



結束バンド x4



六角レンチ

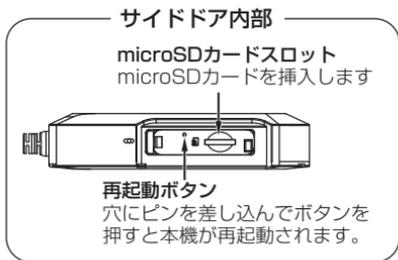
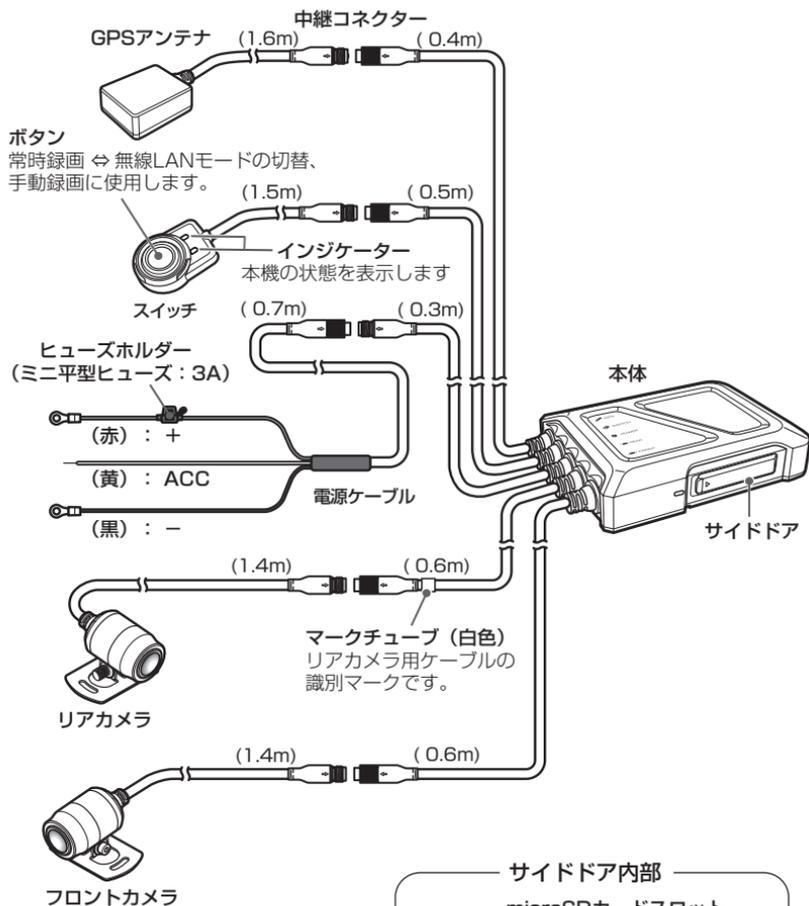


取扱説明書～基本事項編～
(保証書付き)



※本セットには microSD カードは同梱されていません。
お客様自身で別途ご用意ください。

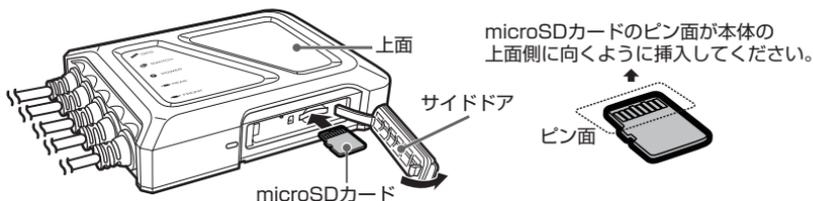
各部の名称と接続



取り付けかた

microSDカードを挿入する

- ① 本体のサイドドアを開きます。
- ② microSDカードをmicroSDカードスロットに、カチッという音が聞こえるまで挿入し、本体のサイドドアを閉めます。



microSDカードを取り外すとき

- ① 本体のサイドドアを開きます。
- ② microSDカードを軽く押し込むとmicroSDカードがスロットから少し飛び出します。
- ③ 飛び出したmicroSDカードの先端をつまみ、microSDを取り外します。
- ④ microSDカードを取り外したら、サイドドアを閉じてください。



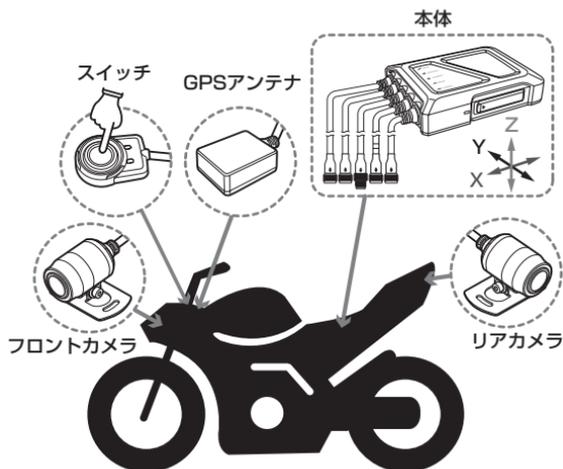
- microSDカードを挿入または取り外す前に、必ず本機の電源をオフにしてください。
- 初めて使用するmicroSDカードは、必ず本機でフォーマットしてからご使用ください。microSDカードをフォーマットは、「microSDカードをフォーマットする」(➡P.8)を参照してください。
- サイドドアは浮きや隙間のないように確実に閉めてください。水や異物が入り込み、故障の原因となります。

取り付け手順

1. レイアウトを決める

下図を参考に本体、フロント/リアカメラ、スイッチ、GPSアンテナの取り付け位置を決めてください。

※このレイアウトは参考例です。



本体のケーブル側を車両の前方に向けて取り付ける事で、PCビューアーソフトのGセンサーチャートの向きが前後(X)、左右(Y)、上下(Z)で表示されます。

※PCビューアーソフトについてはPCビューアーソフト「Motorcycle Cam Viewer」を使う(⇒P.30)をご参照下さい。

ご注意

- 本体は金属で周囲を囲われた位置に取り付けしないでください。電波が遮られ、無線LAN通信ができなくなることがあります。
- GPSアンテナは衛星電波を受信しやすいように、天面側を金属などで覆われていない、また周囲の金属物から2cm以上離れた位置に、上面を上に向けて取り付けてください。
- スイッチはボタン操作がしやすい位置に取り付けてください。

2. 本体を取り付ける

同梱品の両面テープ(本体用)を下図のように本体に貼り付け、本体を車両に取り付けてください。

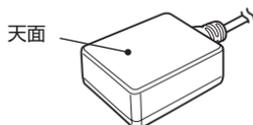


ご注意

- 本体は金属で周囲を囲われた場所に取り付けしないでください。電波がさえぎられ、無線LAN通信ができなくなることがあります。
- 本体を車両に固定するときは、サイドドアを開いてmicroSDカードを抜き差しするために十分な空間があることを確認してください。

3. GPSアンテナを取り付ける

GPSアンテナの裏面に貼り付けられている両面テープの剥離紙を剥がして、車両に取り付けてください。



ご注意

- ハンドル周りや燃料タンクの上部など、衛星の電波を受信しやすい場所に、天面上に向けて取り付けてください。

4. スイッチを取り付ける

スイッチ裏面に貼り付けられている両面テープの剥離紙を剥がして、車両に取り付けてください。



ご注意

- ボタンを簡単に操作でき、バイクの安全な運転を妨げないように、ハンドルもしくはその周辺に取り付けてください。

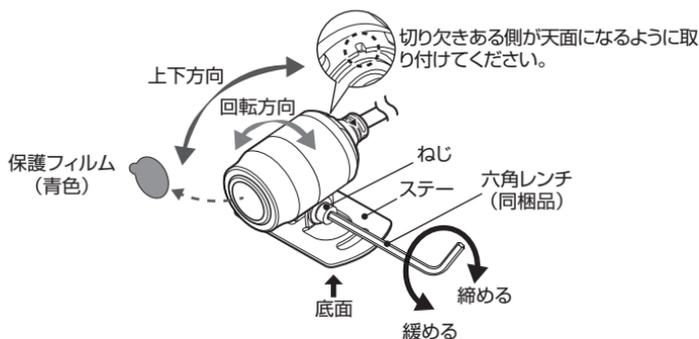
ご注意

- 本機を両面テープで取り付ける際には、車両側の平らな場所を使用し、市販のクリーニングクロスなどで取付場所の汚れや脂分をきれいに拭き取り、乾いたことを確認して固定してください。また、一度使用したテープの再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり本機が落下する恐れがあります。
- 車両のエンジン、マフラー付近など高温になる場所、着座時、サスペンションのフルボトム時に当たったり、圧迫される場所には取り付けしないでください。
- ケーブルは結束バンドなどで脱落しないように固定してください。不確実な配線固定は、脱落、火災などの事故の原因となります。

5. カメラを取り付ける

① カメラ(フロント、リア)の取付位置を選定します。

- カメラの視野になるべく車両部分が写り込まない場所を選定してください。
- レンズ面の青色の保護フィルムを剥がしてください。
- 同梱品の六角レンチを使用してステーのねじを緩めると、カメラの向きを上下方向、回転方向に調整できます。



② カメラを車両に固定します。

同梱品の両面テープ(カメラ用)を使用して車両に取り付けてください。
必要に応じてビス、ナット(お客様で別途ご用意ください)、結束バンドを使用して、カメラを固定してください。



本機の取り付け完了後、スマートフォンアプリ「Motorcycle Cam」のライブビュー画面を見ながらカメラの視野を微調整します。
詳細については「撮影画角の調整」(▶P.24)を参照してください。

ご注意

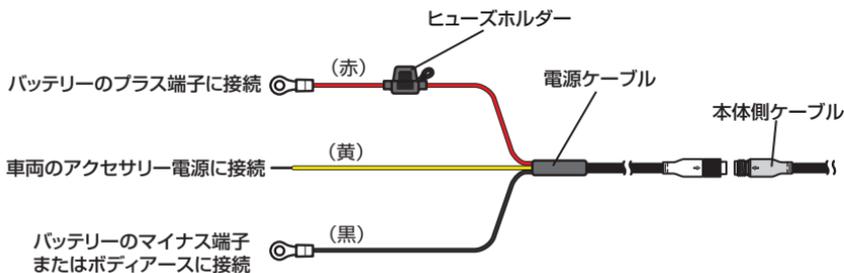
- 本機を両面テープで取り付ける際には、車両側の平らな場所を使用し、市販のクリーニングクロスなどで取付場所の汚れや脂分をきれいに拭き取り、乾いたことを確認して固定してください。また、一度使用したテープの再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり本機が落下する恐れがあります。
- カメラケーブルは、万が一カメラが脱落しても、走行に支障がないよう、結束バンドなどでカメラに近い位置で車両に固定してください。

つづく

6. 電源ケーブルを接続する

電源ケーブルの各ケーブルを下記の順番で車両のバッテリーに接続します。

- ① バッテリーのプラス端子に、電源ケーブル(赤)の丸端子を接続してください。
- ② 電源ケーブル(黄)を車両のアクセサリ電源に接続してください。
(接触不良などのないように、半田付け、カシメなどで確実に接続してください。)
- ③ バッテリーのマイナス端子に、電源ケーブル(黒)の丸端子を接続してください。



※ケーブル先端は必要に応じて加工してください。



- 電源ケーブルの接続時は、ショートを防ぐために、エンジンキーを抜いてください。
- バッテリー端子を外す時はマイナスから外し、すべてのケーブルが端子に接していないことを確認後、プラス端子を外します、接続する時はプラス端子から行います。
- 必要に応じて本機の電源ケーブル端子、又は車両側の電源ケーブル先端を加工して接続してください。
- 配線接続が困難な場合は、専門の技術者にお任せください。取り付けや配線を間違えると、車両に重大な損傷を与え、事故を引き起こす可能性があります。
- ヒューズホルダーは非防水です、水が掛からない場所に設置してください。

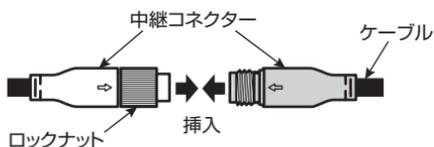
7. 中継ケーブルを接続する

各部の名称と接続(⇒ P.11)を参照し、各ケーブルの中継コネクタを接続します。

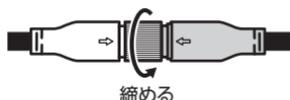
中継コネクタの接続方法

- ① 中継コネクタを挿入する。

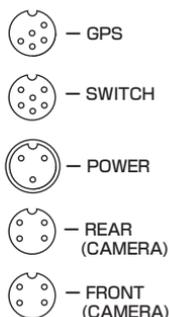
接続する中継コネクタのピン形状を確認し、ピンの向きを合わせて挿入してください。



- ② ロックナットをしっかりと締めて接続を固定する。



中継コネクタピン形状



中継コネクタを取り外す場合

接続時と反対方向にロックナット回して固定を解除し、中継コネクタ本体を持ってケーブルを抜いてください。

ご注意

- 中継コネクタは、必ず中継コネクタ部分を持って抜き差ししてください。ケーブル部分を持って中継コネクタの抜き差しをするとケーブルが破損する可能性があります。
- ロックナットは手で締め付けてください。工具などで締め付けると中継コネクタが破損することがあります。
- フロントカメラとリアカメラのケーブル接続を間違えないように注意してください。リアカメラの接続ケーブルには白色のマークチューブが付いています。



マークチューブ(白色)

8. ケーブルを車両に固定する

各ケーブルを、運転の妨げにならないように、結束バンド、ビニールテープなどで車両に固定してください。



- ケーブルを固定する時は、ハンドルを左右ロックできること、サスペンションがフルボトムしても支障がないことを確認してください。また可動部分への接触や挟み込みがないよう固定してください。

9. 動作を確認する

- ① 車両のエンジンキーを「ACC」または「ON」にしてください。

本機の電源がオンになり、起動時システムチェック完了後に、常時録画が開始されることを確認してください(➡P.19参照)。

- ② エンジンキーを「OFF」にし、本機の電源が自動的に切れることを確認してください。

※終了処理の間、約30秒間LEDインジケーターが点灯していますが問題ありません。

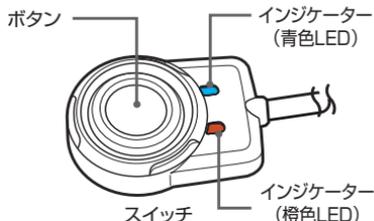
以上、取り付け作業は完了です。

インジケータ表示とスイッチの操作

スイッチのインジケータ(青色LED、橙色LED)の表示パターンで、本機の状態を知ることができます。

スイッチのボタン操作

状態 操作	常時録画中	無線LAN モード中	エラー発生中 (橙LED点灯)
長押し (3秒以上)	無線LAN モードに移行	常時録画 に移行	-
短押し (1秒以下)	手動録画開始	-	エラー内容表示



インジケータ表示パターン

状態	LED表示パターン	
起動時システムチェック中 (起動から録画開始までの間)	青色 点灯 橙色 1秒間隔で点滅	
常時録画中 (時刻非同期) 常時録画中 (時刻同期)	青色 点灯 橙色 消灯	
無線LAN (接続待機中) 無線LAN (接続中)	青色 1秒間隔で点滅 橙色 点灯	
衝撃録画中 手動録画中	青色 点灯 橙色 点灯	
エラー ※ボタンを押すとエラー内容を表示します	青色 消灯 橙色 点灯	
※エラー内容表示	ファームウェアアップデート中 (アップデート完了まで)	青色 消灯 橙色 点灯
	microSDカード異常 (5秒間表示)	青色 0.5秒間隔で点滅 橙色 0.5秒間隔で点滅
	フロントカメラ異常 (5秒間表示)	青色 0.5秒間隔で点滅 橙色 点灯
	リアカメラ異常 (5秒間表示)	青色 点灯 橙色 0.5秒間隔で点滅
	GPS異常 (5秒間表示)	青色 点灯 橙色 0.5秒間隔で0.2秒間隔で2回点滅
	高温異常 (5秒間表示)	青色 0.5秒間隔で0.2秒間隔で2回点滅 橙色 点灯
	スイッチ異常 (5秒間表示)	青色 0.5秒間隔で0.2秒間隔で2回点滅 橙色 0.5秒間隔で0.2秒間隔で2回点滅

スマートフォンアプリ「Motorcycle Cam」を使う

スマートフォンアプリの機能

本機とスマートフォンアプリ「Motorcycle Cam」を無線LANで接続することで、下記の機能を使用することができます。

- 本機の機能設定(⇒P.23)
- 撮影画角の調整(⇒P.24)
- 録画ファイルの再生(⇒P.25)
- 録画ファイルをスマートフォンに保存する(⇒P.27)
- 録画ファイルの削除(⇒P.28)
- フォルダの削除(⇒P.29)
- microSDカードのフォーマット(⇒P.23)

スマートフォンアプリの動作環境

	iOS 版	Android 版
対応 OS	iOS 11 以上	Android 7.0 以上

スマートフォンアプリをインストールする

App Store または Google Play で「Motorcycle Cam」を検索して、インストールしてください。(下記のQRコードからもインストール可能です。)



※ 「Motorcycle Cam」は性能向上や不具合修正のためにアップデート(更新)することがあります。常に最新の「Motorcycle Cam」をご使用されることをおすすめします。

本機とスマートフォンを無線LAN接続で接続する

1. 本体を無線LANモードに切り替える

- ① 本機が常時録画モードになっていることを確認します。
(インジケータの青色LEDが点灯)。
- ② スイッチのボタンを長押し(3秒以上)して、無線LANモードに切り替えます。
(スイッチのインジケータの橙色LEDが点灯し、青色が約1秒間隔で点滅します)

・無線LANモードを終了するとき

- ① スイッチのボタンを長押し(3秒以上)します。
- ② 無線LANモードが終了して常時録画モードに切り替わります。
(スイッチのインジケータが青色の点灯になります)



・無線LANモード中は、録画機能(常時録画、衝撃録画、手動録画)が停止します。

2. スマートフォン側のWi-Fi設定をする

初回接続時はスマートフォン側の設定が必要となります、

※2回目以降は、本機側を無線LANモードに切り替えれば、自動的に接続されますので、本作業は不要です。

※スマートフォンの機種によって設定手順が異なる場合があります。お使いのスマートフォンの取扱説明書の指示に従って設定してください。

- ① スマートフォンの[設定]を開きます。
- ② [Wi-Fi]設定をオンにします。
- ③ [利用可能]なネットワーク一覧が表示されます。
- ④ 一覧から[STZ-KBR010- シリアルナンバー]を選択してタップします。



シリアルナンバー(8桁)は、本体側面のラベルをご確認ください。

- ⑤ パスワードを入力し、[接続]をタップして本機に接続します。
※パスワードの入力は初回接続時のみ必要です、2回目以降は自動的に接続されます。



- ・初期パスワードは「12341234」です。
※セキュリティ対策の為、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
※パスワードの変更は「本機の設定を行なう」(⇒P.23)を参照してください。

「Motorcycle Cam」を起動する

スマートフォンアプリ「Motorcycle Cam」のアイコンをタッチしてください。
起動画面を表示後、[メイン画面]が表示されます。

<アイコン>



<起動画面>



<メイン画面>



「撮影画角の調整」
ライブビュー画面を表示します。
(⇒P.24参照)

「ドライブレコーダー」
本体内のmicroSDカードに記録されたファイルを表示します。

「スマートフォン」
スマートフォンにダウンロードしたファイルを表示します。

メニュー画面について

[メニュー画面]からは、本機の設定、言語切替のほか、ユーザーサポート、アプリバージョン、ライセンス情報の確認がおこなえます。

[メニュー画面]に切り替えるには、[メイン画面]の左上のメニュー[≡]をタッチしてください。

<メイン画面>



<メニュー画面>



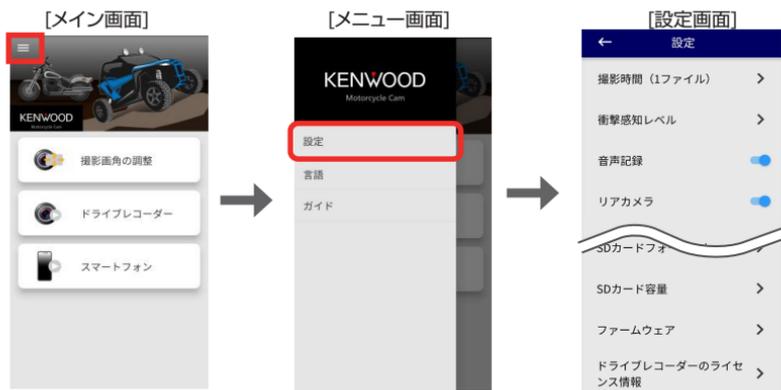
「設定」(⇒P.23参照)
本機の設定をおこないます。

「言語」
使用言語を選択します。
日本語/英語/フランス語/
スペイン語

「ガイド」
・ユーザーサポート
取扱説明書ダウンロードのWEB
ページにリンクします。
・アプリバージョン
本アプリのバージョンを表示
しています。
・ライセンス情報
本アプリのライセンス情報を表
示します。

本機の設定をする

1. 本機とスマートフォンを無線LAN接続する。
2. [メイン画面]左上のメニュー[≡]をタッチし、[メニュー画面]から[設定]を選択する。
※本機とスマートフォンが無線LAN接続されていないときは設定できません。
画面の指示に従って無線LAN接続をおこなってください。
3. [設定画面]から本機の設定をする。



設定画面の項目

設定項目	説明	初期設定
撮影時間(1ファイル)	常時録画の1ファイルあたりの録画時間を設定します。録画ファイルは設定した時間ごとに分割されます。 ・設定値：30秒/1分/3分	1分
衝撃感知レベル	バイクの衝突を感知するレベルを設定します。 ・設定値：5/4/3/2/1/OFF (感度：鈍感 5<4<3<2<1 敏感)	3
音声記録	録画中に音声を録音するかどうかを設定します。 ・設定値：オン / オフ	オン
リアカメラ	リアカメラの録画を設定します。 ・設定値：オン / オフ	オン
画質	画質を設定します。 ・設定値：ファイン / ノーマル	ファイン
時刻同期	スマートフォンと本機の日時を同期します。	
無線LANパスワード	Wi-Fi接続用のパスワードを変更します。	
本体初期化	全ての設定を工場出荷時の状態にリセットします。	
SDカードフォーマット	microSDカードをフォーマットします。	
SDカード容量	microSDカードの残り容量を表示します。	
ファームウェア	本機のファームウェアバージョンを表示します。	
ドライブレコーダーのライセンス情報	本機ソフトウェアのライセンス情報を表示します。	

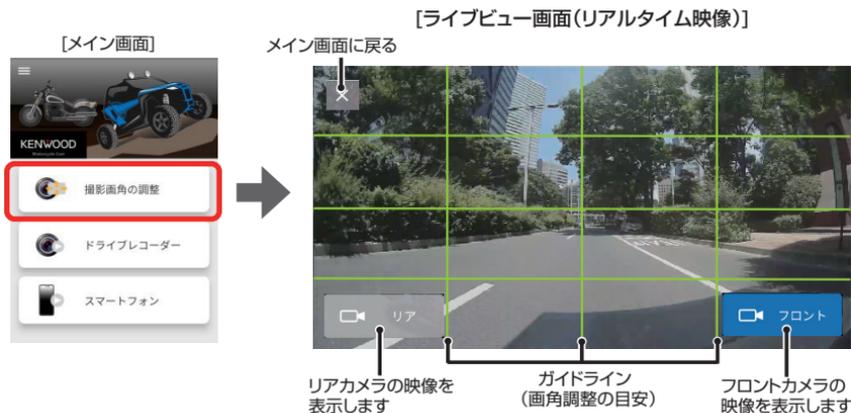
撮影画角の調整

リアルタイムの映像を見ながら、カメラの撮影画角の調整や確認ができます。

- 1.本機とスマートフォンを無線LAN接続する。
- 2.[メイン画面]の[撮影画角の調整]をタッチする。

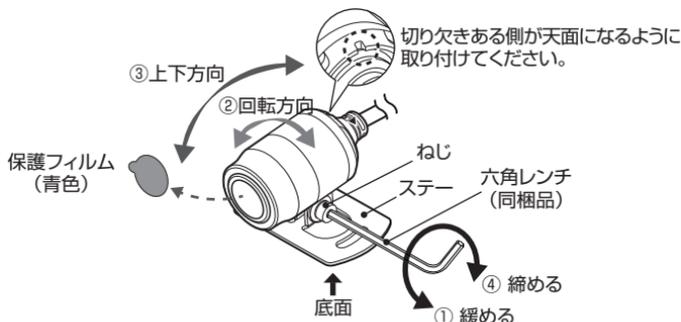
フロントカメラの[ライブビュー画面]が表示されます。

※はじめにリアカメラのライブビューが表示された場合は、フロントカメラとリアカメラの接続を間違えています。カメラケーブルの接続を確認してください。(▶P.17参照)



- 3.ライブビュー画面を見ながら、カメラの向きを調整、確認をする。

- ① 同梱品の六角レンチを使用して、ステーのねじを緩めます。
- ② カメラ尾部の切り欠きが上面になるようにし、回転方向の位置を調整します。
- ③ カメラの上下方向の角度を調整します。
- ④ 調整が完了したら、ステーのねじを締めて固定します。



動画を再生する

録画ファイルを再生します。

1. メイン画面の【ドライブレコーダー】か【スマートフォン】をタップします。

[メイン画面]



【ドライブレコーダー】
本機に挿入されているmicroSDカード内の録画ファイル
を表示します

※【ドライブレコーダー】ボタンは、本機とスマートフォン
が無線LAN接続されていないときは機能しません。画面
の指示に従って無線LAN接続をおこなってください。

【スマートフォン】
本アプリでスマートフォンにダウンロードした録画ファイル
を表示します。

2. [フォルダー一覧画面]で動画カテゴリとフォルダを選択します。

3. [ファイル一覧画面]で、再生したいファイルをタップします。

[フォルダー一覧画面]



フォルダ

ファイル

[ファイル一覧画面]



メイン画面
に戻る

常時録画 衝撃録画 手動録画



ファイル名先頭の文字はそれぞれ下記を表します

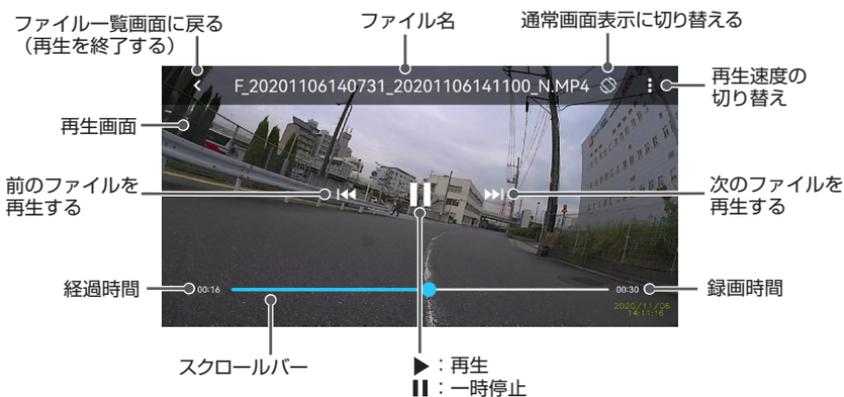
- ・ F_ は、フロントカメラからの録画を表します。
- ・ R_ は、リアカメラからの録画を表します。

4. 再生画面を操作する。

(通常画面表示)



(全画面表示)



録画ファイルをスマートフォンに保存する

本体のmicroSDカードの録画ファイルを、スマートフォンにダウンロードして保存します。

1. メイン画面の【ドライブレコーダー】をタップします。

[メイン画面]



※【ドライブレコーダー】ボタンは、本機とスマートフォンが無線LAN接続されていないときは機能しません。画面の指示に従って無線LAN接続をおこなってください。

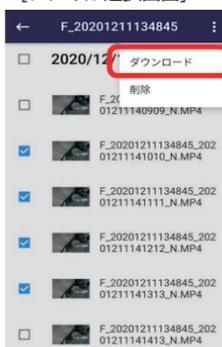
2. [フォルダー一覧画面]で保存したいファイルのある、動画カテゴリとフォルダを選択します。
3. ファイル一覧画面の任意のファイルを長押しします。
4. 保存するファイルにチェックを入れ、画面右上の【:】をタップして【ダウンロード】を選択します。
5. 確認画面が表示されるので、【はい】をタップします。
ダウンロードが完了するとファイルを結合するか確認メッセージがでます。
結合する場合は【はい】をタップしてください。

※ファイルの結合をすることで複数のファイルを1つのファイルとして保存することができます。
※結合された動画はファイル名「[_N_]_MP4」として保存されます。

[ファイル一覧画面]



[ファイル選択画面]



[確認画面]



常時録画 衝撃録画 手動録画

録画ファイルを削除する

録画ファイルを削除します。

1. メイン画面の【ドライブレコーダー】か【スマートフォン】をタップします。

[メイン画面]



【ドライブレコーダー】

本機に挿入されているmicroSDカード内の録画ファイルを表示します

※【ドライブレコーダー】ボタンは、本機とスマートフォンが無線LAN接続されていないときは機能しません。画面の指示に従って無線LAN接続をおこなってください。

【スマートフォン】

本アプリでスマートフォンにダウンロードした録画ファイルを表示します。

2. 【フォルダー一覧画面】で削除したいファイルのある、動画カテゴリとフォルダを選択します。
3. 【ファイル一覧画面】で、削除したいファイルをタップします
4. ファイル一覧画面の任意のファイルを長押しします。
5. 削除するファイルにチェックを入れ、画面右上の【:】をタップし【削除】を選択します。確認画面が表示されるので【はい】をタップします。
※【スマートフォン】を選択している時は【ダウンロード】は表示されません。

[ファイル一覧画面]



[ファイル選択画面]



[確認画面]



フォルダを削除する

1. メイン画面の【ドライブレコーダー】か【スマートフォン】をタップします。



[ドライブレコーダー]
本機に挿入されているmicroSDカード内の録画ファイルを表示します

※【ドライブレコーダー】ボタンは、本機とスマートフォンが無線LAN接続されていないときは機能しません。
画面の指示に従って無線LAN接続をおこなってください。

[スマートフォン]
本アプリでスマートフォンにダウンロードした録画ファイルを表示します。

2. [フォルダ一覧画面]で削除したいファイルのある、動画カテゴリとフォルダを選択します。
3. [ファイル一覧画面]で、削除したいファイルをタップします
4. ファイル一覧画面の任意のファイルを長押しします。
5. 削除するファイルにチェックを入れ、画面右上の【:】をタップし【削除】を選択します。
確認画面が表示されるので【はい】をタップします。
※【スマートフォン】を選択している時は【ダウンロード】は表示されません。



PCビューアソフト「Motorcycle Cam Viewer」を使う

「Motorcycle Cam Viewer」は、本機で録画した映像をパソコンに表示するため専用PCソフトです。お使いのパソコンにインストールしてご使用ください。

「Motorcycle Cam Viewer」の動作環境

	Windows 版	Mac 版
対応 OS	Windows 10 (32Bit/64Bit) Windows 11	macOS 12 Monterey macOS 13 Ventura macOS 14 Sonoma
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上	Core i3 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上 (64BitOSは4GB以上)	4GB 以上
ディスプレイ	1280x800 以上	
HDD	500MB以上の空き領域	
音声	Windows で使用可能なPCM サウンド再生機能	Macで使用可能なサウンド再 生機能
インターネット環境	インターネット接続環境 (地図データ取得をする場合)	

「Motorcycle Cam Viewer」ソフトを入手する

下記のWEBサイトよりPCビューアソフト「Motorcycle Cam Viewer」のインストーラファイルをダウンロードしてください。

<https://ec-store.jvckenwood.com/pages/kbr010> 



※ 「Motorcycle Cam Viewer」は性能向上や不具合修正のためにアップデート(更新)することがあります。常に最新の「Motorcycle Cam Viewer」をご使用されることをおすすめします。

「Motorcycle Cam Viewer」をインストールする

1. ダウンロードしたインストーラファイルをインストールするパソコンの任意の場所にコピーする。
※入手したファイルがZipファイルの場合、パソコンの任意の場所に解凍してください。
2. インストーラファイルを実行する
パソコンにコピーしたインストーラファイルを実行し、画面上の指示に従ってアプリケーションをインストールする。
※インストール後はインストーラファイルは不要です。

「Motorcycle Cam Viewer」を起動する

パソコンのスタートメニュー、またはデスクトップのショートカットから「Motorcycle Cam Viewer」を起動する

PCビューアソフトを使う(Windows版)

Motorcycle Cam Viewer 画面 (Windows版)



※本書ではWindows 10の画面を例として説明しています。
OS、バージョンの違いにより、実際の画面と異なる場合があります。

①ファイル操作

ファイル選択や、microSD カードのファイルをパソコンにバックアップするなど、ファイルの操作を行います。

フォルダを選択する(S)	microSDカードのドライブや、パソコンにバックアップしたフォルダを選択します。
kml/kmz にエクスポート (E)	OpenStreetMap地図サービスで利用可能な走行情報ファイル(kml/kmz)を出力します。
バックアップ (B)	必要に応じてmicroSDカードのファイルをパソコンのハードディスクなどにバックアップします。
終了(X)	PCビューアソフトを終了します。

 (ドライブ一覧)
microSDカードに保存されているファイルを再生するときに使用します。

②設定

本体設定をmicroSDカードに書き込みます。設定(S)>本体設定(S)でmicroSDカードを挿入したドライブを指定してください。

- ・1ファイルあたりの撮影時間
- ・衝撃感知レベル
- ・音声記録
- ・リアカメラ
- ・画質

③言語/LANGUAGE

表示言語を選択します。
日本語/English/Français/Español

④速度表示

スピードメーターと速度表示のON/OFFを設定します。
ONにするとスピードメーターとGセンサーチャートに車の速度を波形で表示します。

⑤ヘルプ

PCビューアソフトのバージョン、ソフトウェアライセンス情報を表示します。

つづく

⑥映像再生画面選択

再生している映像を拡大表示します。

	通常画面を表示します。
	画面中央 左上 右上 左下 右下 を拡大表示します。
	表示される枠を動かして、 任意の場所を最大5倍で拡大表示します。 [リセット]を押すと等倍表示(1倍)になります。

⑦ファイルリスト

選択タブで選んだファイルとサムネイルを一覧で表示します。

⑧映像画面

選択したファイルの映像を表示します。再生バーを操作すると、任意の場所に移動できます。フロントカメラとリアカメラの映像を2分割で表示します。一方の映像画面をダブルクリックするとその映像のみの全画面表示となり、クリックすると2分割の画面に戻ります。

⑨再生バー/再生時間/総再生時間

再生バーをスライドさせると、再生シーンを選択できます。

⑩操作ボタン

映像再生、停止などの操作ボタンです。

	前のコマを表示します。
	後のコマを表示します。
	再生中のファイルの先頭に戻ります。
	次のファイルを再生します。
	再生を開始します

	再生中に押すと一時停止します
	再生を停止します。
	押したところで、映像を静止画として保存します。
	再生状態などの動作を表示します。 再生 停止 一時停止 未読み込み
	再生スピードを変更します。 ×½ ×1 ×2 ×4 ×8 ×16
	音量を調整します。 [0~100]

⑪Gセンサーチャート

車の前後(GX)、左右(GY)、上下(GZ)方向の動きの加速度と前後(Gyro X)、左右(Gyro Y)、上下(Gyro Z)方向のジャイロ角速度と車の速度(Speed)を波形と数値で表示します。

— お知らせ

本体の取り付け方向によって、実際の加速度とは異なる場合があります。

⑫再生中のファイルのパス

⑬スピードメーター

車の速度を表示します。

— お知らせ

スピードメーターの速度表示は実際の速度とは異なります。あくまで目安としてください。

⑭ 地図表示ボタン

ファイルリストをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。

地図が表示されていないときは **MAP ▲** をクリックしてください。

ネットワーク状態により、地図が表示されない場合があります。ネットワークが接続されていることを確認の上、⑬の地図の再読み込みを行ってください。



① 地図を拡大/ 縮小します。

② 緯度・経度を表示します。

③ 地図を再読み込みします。

④ 地図を別ウィンドウで開きます。

⑤ 地図を非表示にします。 **MAP ▲** をクリックすると地図を表示します。

⑥ 地図上に表示される経路やアイコンの表示・非表示を選択できます。

⑦ 広域の地図で表示します。

⑧ 走行経路

2日以上を経路を表示しているときは、日ごとに色を変えて表示します。

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
青	赤	緑	白	桃色	水色	黄色

⑨ 選択中のファイルの自転車位置を表示します。

⑩ 各ファイルの先頭位置

アイコンにマウスカーソルを合わせるとファイルの先頭位置の映像が表示されます。クリックすると該当ファイルを再生します。

お知らせ

- microSDカードの録画容量がなくなると古いファイルは上書きされて消去されます。消去された部分については地図上に表示されません。
- 地図上の自転車位置は本機に内蔵している測位衛星アンテナを使用しています。ビル街、トンネル、高架下など測位衛星信号の受信環境が悪い場所の走行では、自転車位置が正しく表示されないことや実際の走行軌跡がずれることがあります。

ファイルを再生する

1. microSDカードを本機から取り外し、カードリーダー(市販品)を使用してパソコンに接続する
2. Motorcycle Cam Viewer を起動する
3. ドライブ一覧からmicroSDカードのドライブを選択する



※パソコンに保存しているファイルを再生する場合は、ファイル(F)の<フォルダを選択する(S)>で保存先のフォルダを選択してください。

4. [ファイル]、[衝撃/手動] タブから、再生したいファイルを選択して[]を押す

ファイル	衝撃/手動
全ファイルを表示します。	衝撃/手動のファイルを表示します。

映像から静止画を出力する

再生している映像から任意の場所の映像を取り込んで静止画として出力します。

1. 映像を取り込みたいファイルを選択し再生する
2. 取り込みたい場面で[]ボタンを押す
3. 保存先のフォルダを選択しファイル名を付ける
4. [保存] ボタンを押す

走行情報を出力する

OpenStreetMap地図サービスで利用可能な走行情報ファイル(kml/kmz)を出力します。

1. ファイル(F)から <kmz/kml にエクスポート(E)> を選択する
2. バックアップ先のフォルダを選択し、ファイルの種類「KML/KMZ」を選択してファイル名を付ける
3. [保存] ボタンを押す

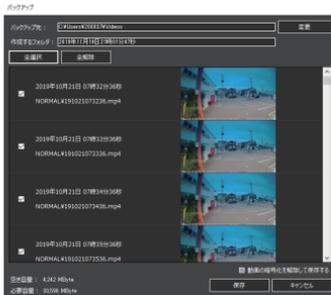
お知らせ

使用方法は、OpenStreetMap地図サービスのヘルプをご覧ください。

ファイルをバックアップする

必要に応じてmicroSD カードのファイルをパソコンのハードディスクなどに保管します。

1. ファイル(F)から<バックアップ(B)>を選択する
2. バックアップ先のフォルダを選択する
3. 保存したいファイルにチェックマークをつけて保管するファイルを選択する
4. [保存] ボタンを押す

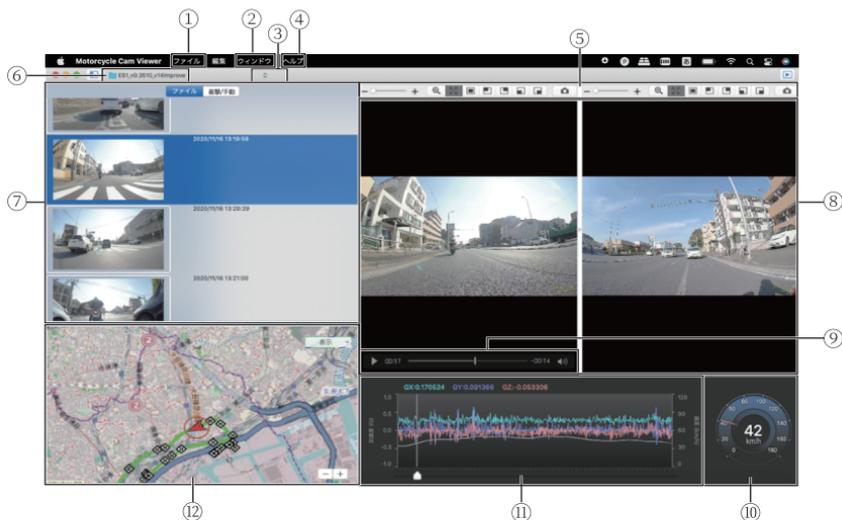


Motorcycle Cam Viewerを終了する

メニューバーの[X] ボタン、またはファイル(F)から <終了(X)> を選択する。

PCビューアソフトを使う(Mac版)

Motorcycle Cam Viewer 画面 (Mac版)



※OS、バージョンの違いにより、実際の画面と異なる場合があります。

①ファイル操作

ファイル選択や、microSD カードのファイルをパソコンにバックアップするなど、ファイルの操作を行います。

フォルダを選択する(S)	microSDカードのドライブや、パソコンにバックアップしたフォルダを選択します。
kmz/kml にエクスポート (E)	OpenStreetMap地図サービスで利用可能な走行情報ファイル(kml/kmz)を出力します。
バックアップ (B)	必要に応じてmicroSDカードのファイルをパソコンのハードディスクなどにバックアップします。
終了(X)	PCビューアソフトを終了します。

②ウィンドウ

本体設定でmicroSDカードに書き込みます。設定(S)>本体設定(S)でmicroSDカードを挿入したドライブを指定してください。

- ・ 1ファイルあたりの撮影時間
- ・ 衝撃感知レベル
- ・ 音声記録
- ・ リアカメラ
- ・ 画質

③ドライブ

microSDカードに保存されているファイルを再生するときを使用します。



④ヘルプ

PCビューアソフトのバージョン、ソフトウェアライセンス情報を表示します。

⑥映像再生画面選択

再生している映像を拡大表示します。

	通常画面を表示します。
	画面中央 左上 右上 左下 右下 を拡大表示します。
	表示される枠を動かして、 任意の場所を最大5倍で拡大表示します。 [リセット]を押すと等倍表示(1倍)になります。
	通常画面を表示します。

⑥再生中のファイルパス

⑦ファイルリスト

選択タブで選んだファイルとサムネイルを一覧で表示します。

⑧映像画面

選択したファイルの映像を表示します。
再生バーを操作すると、任意の場所に移動できます。
フロントカメラとリアカメラの映像を2分割で表示します。
一方の映像画面をダブルクリックするとその映像のみの全画面表示となり、クリックすると2分割の画面に戻ります。

⑨操作ボタン/再生バー/再生時間/総再生時間

再生バーをスライドさせると、再生シーンを選択できます。

操作ボタン

	再生を開始します
	再生速度を変更します。 <input type="button" value="×½"/> <input type="button" value="×1"/> <input type="button" value="×2"/> <input type="button" value="×4"/> <input type="button" value="×8"/>
	音量を調整します。 [0~100]

⑩スピードメーター

車の速度を表示します。

お知らせ

スピードメーターの速度表示は実際の速度とは異なります。あくまで目安としてください。

⑪Gセンサーチャート

車の前後(GX)、左右(GY)、上下(GZ)方向の動きの加速度と前後(Gyro X)、左右(Gyro Y)、上下(Gyro Z)方向のジャイロ角速度と車の速度(Speed)を波形と数値で表示します。

お知らせ

本体の取り付け方によって、実際の加速度とは異なる場合があります。

⑫地図表示

ファイルリストをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。



① 地図上に表示される経路やアイコンの表示・非表示を選択できます。

② 地図を拡大/縮小します。

③ 走行経路を青で表示します。

④ 選択中のファイルの自転車位置を表示します。

⑤ 各ファイルの先頭位置

アイコンにマウスカーソルを合わせるとファイルの先頭位置の映像が表示されます。
クリックすると該当ファイルを再生します。

お知らせ

- microSDカードの録画容量がなくなると古いファイルは上書きされて消去されます。消去された部分については地図上に表示されません。
- 地図上の自転車位置は本機に内蔵している測位衛星アンテナを使用しています。ビル街、トンネル、高架下など測位衛星信号の受信環境が悪い場所の走行では、自転車位置が正しく表示されないことや実際の走行軌跡がずれることがあります。

ファイルを再生する

- microSDカードを本機から取り外し、カードリーダー(市販品)を使用してパソコンに接続する
- Motorcycle Cam Viewer を起動する
- ドライバー一覧からmicroSDカードのドライブを選択する



※パソコンに保存しているファイルを再生する場合は、ファイル(F)の<フォルダを選択する(S)>で保存先のフォルダを選択してください。

- [ファイル]、[衝撃/手動] タブから、再生したいファイルを選択して[▶]を押す

ファイル	衝撃/手動
全ファイルを表示します。	衝撃/手動のファイルを表示します。

映像から静止画を出力する

再生している映像から任意の場所の映像を取り込んで静止画として出力します。

1. 映像を取り込みたいファイルを選択し再生する
2. 取り込みたい場面で []ボタンを押す
3. 保存先のフォルダを選択しファイル名を付ける
4. [保存] ボタンを押す

静止画像が選択したフォルダに保存されます。

走行情報を出力する

OpenStreetMap地図サービスで利用可能な走行情報ファイル(kml/kmz)を出力します。

1. ファイル(F)から <kmz/kml にエクスポート(E)> を選択する
2. バックアップ先のフォルダを選択し、ファイルの種類「KML/KMZ」を選択してファイル名を付ける
3. [保存] ボタンを押す

お知らせ

使用方法は、OpenStreetMap地図サービスのヘルプをご覧ください。

ファイルをバックアップする

必要に応じてmicroSD カードのファイルをパソコンのハードディスクなどに保管します。

1. ファイル(F)から<バックアップ(B)>を選択する
2. バックアップ先のフォルダを選択する
3. 保存したいファイルにチェックマークをつけて保管するファイルを選択する
4. [保存] ボタンを押す

Motorcycle Cam Viewerを終了する

メニューバーの[X] ボタン、またはファイル(F)から <終了(X)> を選択する。

ファームウェアのアップデート

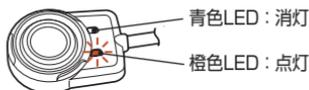
本機のファームウェアは性能向上や不具合修正のためにアップデートすることがあります。常に最新のファームウェアをご使用されることをおすすめします。最新のファームウェア情報の確認とダウンロードは、下記のWEBページからおこなってください。

<https://ec-store.jvckenwood.com/pages/kbr010> 



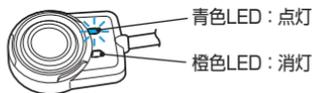
ファームウェアのアップデート方法

1. 入手した最新のファームウェアをmicroSDカードにコピーする。
※入手したファイルがZipファイルの場合、解凍してからmicroSDカードにコピーしてください。
2. ドライブレコーダーにファームウェアをコピーしたmicroSDカードを挿入する。
3. ドライブレコーダーの電源をONにする。
4. ドライブレコーダーは起動時にmicroSDカードを確認し、新しいバージョンのファームウェアが存在する場合にはアップデートが実行されます。
アップデートを開始するとインジケータが下記のように点灯します。



ファームウェアのアップデート中は、絶対に電源を切ったり、microSDカードを抜いたりしないでください。

5. アップデートが完了すると自動的に再起動し、インジケータが下記のように点灯します。



6. ファームウェアのバージョンを確認する。
スマートフォンと接続し、Motorcycle Camの [MENU] → [設定] → [ファームウェア] でファームウェアのバージョンが更新されていることを確認してください。



- ファームウェアとは本体内に組み込まれたソフトウェアで、本機の動作制御をしています。性能向上、不具合修正のためにアップデートすることがあります。
- ファームウェアの更新中は絶対に電源をオフしたり、microSDカードを抜いたりしないでください。ファームウェア更新中に電源がオフになった場合は、次回の電源オン時に再度更新が実行されます。
- ファームウェア更新中は本機の録画機能、ボタン操作など全ての機能は動作しません。

故障かな?と思ったら

症状	原因 / 対処方法	
車両のアクセサリ電源 (ACC) をONしても、インジケータが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒューズが切れていませんか? ⇒ヒューズ切れの原因を取り除き、ヒューズを交換してください。(ヒューズは必ず指定の容量のものをご使用ください) ●電源ケーブル、スイッチケーブルの中継コネクタが外れていませんか? ⇒中継コネクタの接続を確認してください。 	
インジケータの表示パターン	橙色のインジケータが点灯している。 (⇒P.19参照)	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチのボタンを押すと、インジケータの点灯パターンがエラー内容の表示に変わります。(⇒P.19参照) ⇒エラー内容を確認して対応してください。
	microSDカードの異常を知らせる表示をする。 (⇒P.19参照)	<ul style="list-style-type: none"> ●microSDカードは正しく挿入されていますか? ⇒microSDカードを正しく挿入しなおしてください。(⇒P.12参照) ⇒正しく挿入しても解決しないときは、microSDカードのフォーマットをしてください。(⇒P.23参照) または新しいmicroSDカードに交換してください。
	フロントカメラの異常を知らせる表示をする。 (⇒P.19参照)	<ul style="list-style-type: none"> ●フロント側カメラケーブルの中継コネクタが外れていませんか? ⇒中継コネクタの接続を確認してください。(⇒P.17参照)
	リアカメラの異常を知らせる表示をする。 (⇒P.19参照)	<ul style="list-style-type: none"> ●リア側カメラケーブルの中継コネクタが外れていませんか? ⇒中継コネクタの接続を確認してください。(⇒P.17参照)
	GPSの異常を知らせる表示をする。 (⇒P.19参照)	<ul style="list-style-type: none"> ●GPSケーブルの中継コネクタが外れていませんか? ⇒中継コネクタの接続を確認してください。(⇒P.17参照)
	本体が高温になっていることを知らせる表示をする。 (⇒P.19参照)	<ul style="list-style-type: none"> ●本体ユニットが高温になっています。発熱を抑えるために手振り補正をOFFし、フレームレートを一時的に落として録画を続けます。それでも温度が下がらない場合は、録画を停止します。
	スイッチの異常を知らせる表示をする。 (⇒P.19参照)	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチケーブルの中継コネクタが外れていませんか? ⇒中継コネクタの接続を確認してください。(⇒P.17参照)
カメラの視角度調整中、アプリ画面に「カメラが未接続です」と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラケーブルの中継コネクタが外れていませんか? ⇒中継コネクタの接続を確認してください。(⇒P.17参照) 	
使用中に本体やカメラが発熱する。	<ul style="list-style-type: none"> ●触れないほど熱いですか? ⇒触れないほど発熱する場合はただちに使用を中止し、本書記載のお問い合わせ窓口にお問い合わせください。 	
録画映像の表示時刻と実際の時刻がずれている。	<ul style="list-style-type: none"> ●GPSアンテナの上方向が金属または金属でコーティングされたもので覆われていませんか? ⇒覆っているものを取り外します。またはGPSアンテナを覆うものがない場所に設置してください。解決しない場合は、専用スマートフォンアプリを使用して、時刻の同期を行ってください。 	

症状	原因 / 対処方法
録画された映像が鮮明でない。	<ul style="list-style-type: none"> ●画質がファインにされていますか？ ⇒画質の設定をファインに変更してください。(⇒P.23参照) ●カメラのレンズは汚れていませんか？ ⇒レンズクリーナーか、少し水を含ませた柔らかい布でレンズを拭いてください。
フロントとリアの外付カメラの映像が入れ替わって録画される。	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラケーブルと本体の接続先が合っていますか？(⇒P.17参照) ⇒カメラケーブルの中継コネクタを取り外し、正しい接続先に接続し直してください。
Gセンサーの反応と車両の方向(上下、前後、左右)が合わない。	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の向き(X、Y、Z)は、車両の前後、左右、上下に合わせて取り付けられていますか？(⇒P.13参照) ⇒できるだけ本体ユニットと車両の向きを合わせて取り付けてください。 ※衝撃検知感度には影響しません。
衝撃録画が作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●衝撃検知感度がオフ、または低く設定されていませんか？ ⇒衝撃検知感度の設定を段階的に高く設定し、確認してください。(⇒P.23参照)
衝撃録画が頻繁に作動する。	<ul style="list-style-type: none"> ●本体が車両にしっかり固定されていますか？ ⇒本体が動かないように固定してください。 ●衝撃検知感度が高く設定されていませんか？ ⇒衝撃検知感度の設定を段階的に低く設定し、確認してください。(⇒P.23参照)
GPSの位置情報が取得できない。または位置がずれる。	<ul style="list-style-type: none"> ●GPSアンテナの上方向が金属または金属でコーティングされたもので覆われていませんか？ ⇒覆っているものを取り外します。またはGPSアンテナを覆うものがない場所に設置してください。 ●トンネル内や山間部、ビル街、高架下などを走行していませんか？ ⇒周囲の環境によってGPSの電波を受信しにくい場所があります。場所を変えて位置情報が正しく取得できるか確認してください。
スマートフォンと本機が無線LAN接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●無線LANモードに切り替えましたか？ ⇒スイッチのボタンを長押し(3秒)して無線LANモードに切り替えてください。 ●接続先のパスワードを正しく入力しましたか？ ⇒正しいパスワードを入力してください。
無線LAN接続したが、アプリと本機が接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●すでに別のスマートフォンが接続されていませんか？ ⇒複数台のスマートフォンを同時に接続できません。別のスマートフォンの接続を解除してください。
リアカメラの映像が録画されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ○リアカメラの設定がOFFになっていませんか？ ⇒リアカメラの設定をONIにしてください。(⇒P.23参照)

無線LANについて

無線LANについてのお問い合わせ

- 本機は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に無線接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生した場合は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解・改造すること
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数帯について

- 本機の周波数表示と意味は下記の通りです。
 - 2.4 : 2.4GHz 帯を利用する無線設備を示します。
 - DS : 変調方式がDS-SSであることを示します。
 - OF : 変調方式がOFDMであることを示します。
 - 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
 - — — : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。



2.4GHz 機器使用上の注意事項

2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数帯を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・化学・医療機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ① 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、本機の使用を停止してください。

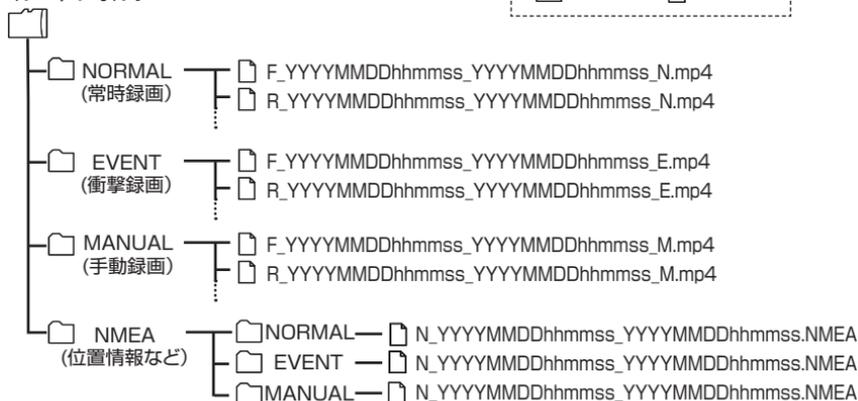
フォルダ / ファイル構成

microSDカードに録画または記録したファイルは、項目毎のフォルダに保存されます。ファイル名は録画または記録された年月日と時間で自動的に付けられます。



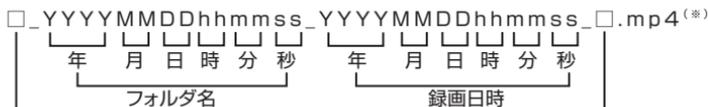
- ・ microSDカード内にあるファイルをパソコンなどで変更または削除しないでください。本機やパソコンのアプリケーションで正しくファイルが再生できなくなることがあります。

microSDカード
ルートフォルダ



ファイル名表記について

・ ドライブレコーダーの映像ファイル



F:フロント映像

R:リア映像

N:システム情報(位置情報など)

N:常時録画

E:衝撃録画

M:手動録画

※位置情報ファイルの拡張子は.NMEAとなります。



- ・ 上記以外のフォルダが表示される場合がありますが、動画、静止画、位置情報などには関係ありません。

録画時間と録画可能ファイル数

録画時間

録画品質	microSDカードの容量				
	16GB	32GB	64GB	128GB	256GB
ファイン	93分	190分	384分	772分	1547分
ノーマル	170分	348分	703分	1414分	2837分

- 上記の録画時間は、常時録画の合計(最大)時間です。
- 録画するシーンによって、録画時間が短くなる場合があります。

録画可能ファイル数

録画タイプ	microSDカードの容量				
	16GB	32GB	64GB	128GB	256GB
衝撃録画	10	20	40	80	160
手動録画	10	20	40	80	160

- 録画された衝撃録画および手動録画の数により、常時録画のファイル数は変わります。

付録

測位衛星(GPS、GLONASS、みちびき)の受信について

- 本機の電源がオンになると測位を始めます。
衛星の測位状況によっては、測位が完了するまで、5分程度かかる場合があります。
- 衛星信号は、固体物質(ガラスを除く)を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、測位は使用できません。信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物(例えば、樹木、トンネル、高架橋または高層ビル)などの状況の影響を受ける可能性があります。衛星信号が正しく受信できないときは速度や位置情報などが正しく表示されません。
- 測位データは、参考値です。

商標、ソフトウェアに関する重要なお知らせ

- microSDHC、microSDXCはSD-3C LLCの商標です。
- Android、Google Play、Google Play ロゴ、は、Google LLCの商標または登録商標です。
- iOS は、Apple Inc. のOS 名称です。iOS は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- OpenStreetMapはOpenStreetMap財団の登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、macOSは米国およびその他の国で登録された米国Apple, Inc.の商標です。
- App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
- Mac[®]とmacOS[®]とOS X[®]とApp Store[®]とは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Intel Coreは、Intel Corporationの登録商標または商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- OpenStreetMapはOpenStreetMap財団の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。
- 本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途のみライセンスされています。
 - 1) 消費者が個人的かつ非営利目的でMPEG-4 AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC Video)を記録する場合
 - 2) AVC Video(消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、またはMPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの)を再生する場合詳細については、MPEG LA, LLC. のホームページをご参照ください。
<http://www.mpegla.com/>

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれにJVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、JVCケンウッドおよび第三者が規定したソフトウェア使用許諾契約に基づくソフトウェアコンポーネント(以下、「許諾ソフトウェア」)を使用しております。

許諾ソフトウェアの中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public LicenseまたはLesser General Public License(以下、「GPL/LGPL」)のライセンスが適用される結果、実行可能な形式のソフトウェアコンポーネントを配布する際に、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にすることが求められています。当該ソースコードの頒布に関しては、以下のホームページをご覧くださいようお願い致します。

ホームページアドレス

<https://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容などについてのご質問はお答えしかねますので、予めご了承ください。「GPL/LGPL」の適用を受けない許諾ソフトウェアにつきましては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であることを問わず一切ありません。

適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。

当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項などの詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお、各ライセンスはJVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文(英文)を本製品のスマートフォンアプリ内で表示します。

ドライブレコーダーのライセンス情報

- ①スマートフォンアプリ「Motorcycle Cam」を立ち上げる
- ②メイン画面の[MENU]ボタンを押す
- ③ [設定] ⇒ [ドライブレコーダーのライセンス情報] と選択する

「Motorcycle Cam」のライセンス情報

- ①スマートフォンアプリ「Motorcycle Cam」を立ち上げる
- ②メイン画面の [MENU]ボタンを押す
- ③ [ガイド] ⇒ [オープンライセンス] と選択する

「Motorcycle Cam Viewer」のライセンス情報

- ①PCアプリ「Motorcycle Cam Viewer」を立ち上げる
- ②ツールバーの[ヘルプ]ボタンを押す

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社JVC ケンウッド (以下、「ライセンサー」) が提供する本製品に組み込まれたソフトウェア (以下、「許諾ソフトウェア」) は、ライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有します。本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。本契約は、お客様 (以下、「使用者」) が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で、成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。この場合、一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別に、お客様に対して直接使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます。「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

第 1 条 (総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアについて、日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权 (第 3 条第 1 項に定める例外を除く) を使用者に許諾します。

第 2 条 (使用权)

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部もしくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変し、もしくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとします。許諾ソフトウェアは営利目的の否かに関わらず、いかなる目的でも頒布、ライセンス、もしくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第 3 条 (許諾条件)

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア (その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む) の使用权についても同様に移転することができます。但し、当該移転は、使用者の手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件とします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条 (許諾ソフトウェアの権利)

1. 許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等の一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用权と再許諾権を許諾した原権利者 (以下、「原権利者」) に帰属するものとします。使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して、本契約に基づき許諾された使用权を除き、いかなる権利を有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第 5 条 (ライセンサーの免責)

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使した結果、使用者もしくは第三者に生じた損害に関して、いかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条 (第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条 (秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容及び、公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとし、

第 8 条 (契約の解除)

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとし、

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条 (許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとし、

第 10 条 (著作権保護)

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものであり、いかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとし、

第 11 条 (輸出規制)

1. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとし、
2. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法 (アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます) に従うことに同意するものとし、

第 12 条 (その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとし、
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとし、
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とする事に同意するものとし、

主な仕様

防水 防塵性	本体	IP55相当
	カメラ	
	GPS	IP66・67相当
	スイッチ	
フロント、 リアカメラ ユニット	映像素子	200万画素 (有効画素:186万画素)
	レンズ画角	対角 195° (有効画角:181°)
	フレーム レート	27.5 fps
	F値	2.2
記録解像度	1920 x 1080	
画質	ファイン / ノーマル	
映像ファイル 形式	MP4(動画形式: H.264、 録音形式: AAC)	
録画ファイル 構成	30秒 / 1分 / 3分 (1ファイルあたりの記録時間)	
記録方式	常時録画、衝撃録画、手動録画	
記録データ	動画ファイル、日時、加速度、 位置情報	
音声録音	オン / オフ	
HDR	有り	
Gセンサー	有り(衝撃感度設定5段階/オフ)	
GPS	有り	
電子式 ブレ補正	有り	
測位衛星	GPS / GLONASS / みちびき	

記録媒体	タイプ	microSDHC microSDXC Class 10 UHS-I
	容量	16GB ~ 256GB
録画映像 再生方法	Motorcycle Cam (対応OS) ・ iOS 11 以上 ・ Android 7 以上	
	Motorcycle Cam Viewer (対応OS) ・ Microsoft Windows 10/11 ・ Appie Mac OS 10.14 (Mojave) 以降	
電源電圧	DC12V	
消費電流	0.48 A	
寸法 (単位: mm)	本体	約79(W) x 104(D) x 22.5(H)
	カメラ	約23.5(Φ) x 34.4(D)
	GPSアンテナ	約27.4(W) x 33(D) x 13(H)
	スイッチ	約25.8(W) x 36.9(D) x 9.4(H)
質量 (単位: g) *ケーブル 質量は含ま ず。	本体	約 105 g *
	カメラ	約 42 g *
	GPSアンテナ	約 14 g *
	スイッチ	約 9 g *
動作温度範囲	- 20°C ~ + 60°C	

- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本書に描かれているイラストは、わかりやすくするための誇張・省略があります。
- ・本書の内容は2023年11月現在のものです。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87 (固定電話からフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話からナビダイヤル)
045-450-8950 (一部IP電話など)/FAX 045-450-2308
受付時間などは、裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(⇒P.41)または当社ホームページのFAQを参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。予めご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

● 持込修理 この商品は持込修理とさせていただきます。

- 製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
- 保証期間内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取りはずし、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

技術料： 製品の故障診断、部品交換などの故障個所の修理および付帯作業に掛かる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

保証規定

- 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
 - 次のような場合は保証期間内でも有料となります。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書に形名/製造番号の印字のない場合、また字句を書き替えられた場合。
 - 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。
(取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。)
 - 故障の原因が本製品以外の機器による場合。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - 一般車載用途以外に仕様された場合の故障および損傷。(例えば、産業用の長時間使用、船舶<船舶用製品を除く>、直流電源装置を用いた一般家庭での仕様等)。
 - 製造番号を改変、および取りはずした製品。
 - 消耗品(例えば、SDメモリーカード、乾電池、充電池等)の交換。
 - 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
 - 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。(インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
 - 保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
 - 保証書は、再発行いたしません。大切に保管してください。
- ※ 修理の内容は修理伝票に記載して、お渡しします。
- ※ 保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
- ※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書～基本事項編～の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ 保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)。およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

●免責事項

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

商品に関するお問い合わせ

商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

固定電話からは フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話からは、ナビダイヤル 0570-010-114

フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は 045-450-8950

FAXを送信される場合は 045-450-2308

- 受付日 : 月曜日～ 土曜日(祝祭日・当社休日を除く)
- 受付時間 : 月曜日～ 金曜日 9:30～18:00 / 土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜日、祝日、当社休日は休ませていただきます)
- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ(<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>)
またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

MEMO

MEMO

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12